

**「豊田市のまちづくりと市民活動に関する調査」**

**集計結果 概要版**

**2009年11月**

**名古屋大学社会学研究室**

---

---

# 「豊田市のまちづくりと市民活動に関する調査」の概要

名古屋大学社会学講座 丹辺宣彦・新城優子

## 1. 調査の目的と集計の現状

本調査は、現在の豊田市の住民によるまちづくり活動について、1)どのような関心、参加意向があり、またじっさいにどのようなプロフィールの人たちが参加しているかを明らかにし、2)それらを促進している諸要因と、まちづくり活動がもたらしている成果を、豊田市の都市発展と関連づけて解明するために行ったものである。今後のまちづくりの基礎資料として欠かせない、まちづくり活動の要因、実態、成果を分析するための調査研究である。

現段階(2009年11月末)で、単純集計の作業と整理を終えたので、概要を研究室のHPで公開することとした。なお、2010年4月には、より詳しい調査結果の概要を公開する予定である。

調査にご協力いただいた豊田市の住民の方々には心より感謝申し上げます。

## 2. 調査実施要領

本調査の実施の概要は以下の通りである。

- (1) 調査地域 旧豊田市全域
- (2) 調査対象 平成21年6月1日の時点で旧豊田市内に居住する30~69歳の市民の男女  
(住民基本台帳に記載のない外国人を除く)
- (3) 調査地点数
- (4) 標本数 3,000人
- (5) 抽出方法 住民基本台帳を用いた確率比例2段抽出法
- (6) 調査方法 郵送調査
- (7) 調査時期 平成21年8月6日(木)から8月31日(月)まで
- (8) 回収数 調査標本数 3,000 (男性1,900人、女性1,100人)  
有効標本回収数 1,534  
有効回収率 51.1% (男性47.2%、女性57.8%)

## 3. 集計結果の見方

- ・集計結果は有効回答をもとにパーセンテージを算出し、「○○% (N=○○)」(カッコ内「N=○○」は回答数)という形で記してあるが、設問によっては平均値を記載しているものもある。
- ・付問があるものは、付問に回答すべき人を100%として計算してパーセンテージを記載している。
- ・一部についてはグラフで集計結果を記してあり、それぞれの設問に対して簡単な説明を加えている。
- ・無効回答および非該当の場合は省略しているため、実数を加算した際に1,534にならないものもある。
- ・特に記載のない場合を除いては、それぞれの選択肢から1つを選ぶ形式の回答となっている。

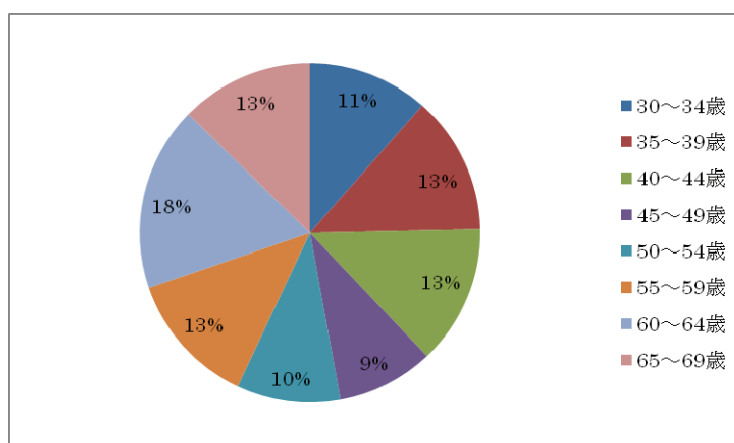
## 集計結果

### 問1. あなたの性別はどちらですか。

1. 男性 58.5% (N=898)	2. 女性 41.5% (N=636)
------------------------	------------------------

今回の調査の回答者のうち、男性は58.5%、女性が41.5%だった。配布数が男性1,900、女性1,100であるため、男性の回収数のほうが多くなっている。

### 問2. あなたの年齢はつぎのどれに当たりますか。



回答者の年齢は、30～34歳の若年層および45～54歳の壮年層が若干少なく、60～64歳の前期高齢者層が多くなっているが、すべての年齢層からほぼ同数の回答が得られた。

カテゴリーでの回答のため正確な平均年齢はわからないが45～55歳と考えられる。

### 問3. 豊田市と現在のお住まいには何年ほどお住まいですか。

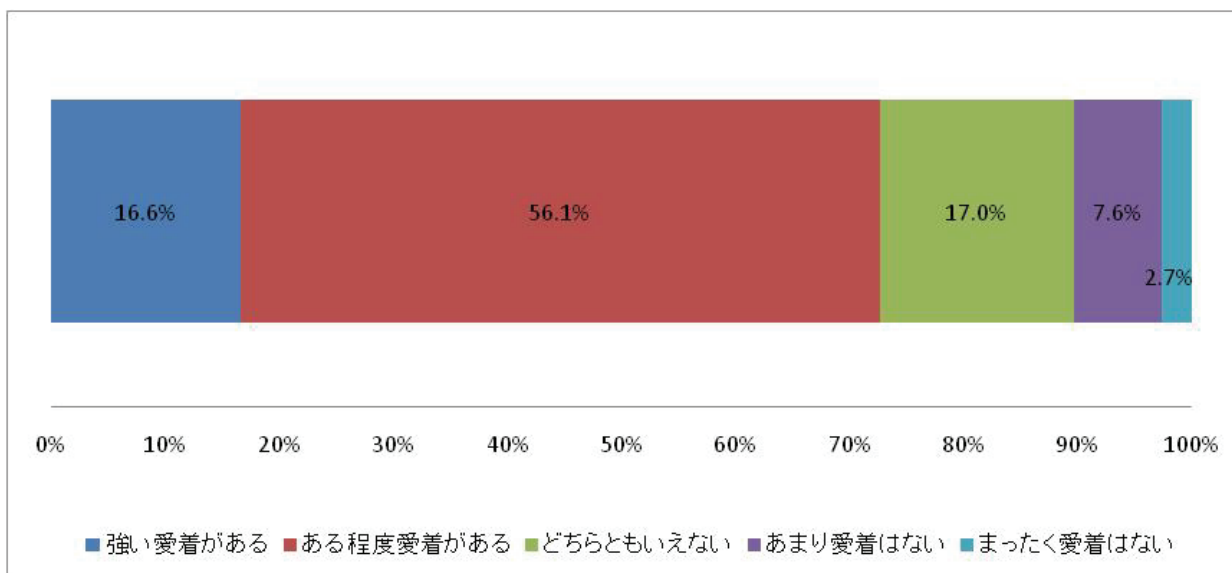
豊田市に約（平均 33.0）年 → うち現在の住まいに約（平均 20.6）年
--

【付問】直前にお住まいの場所はどちらでしたか。またその引越しのきっかけは何でしたか。

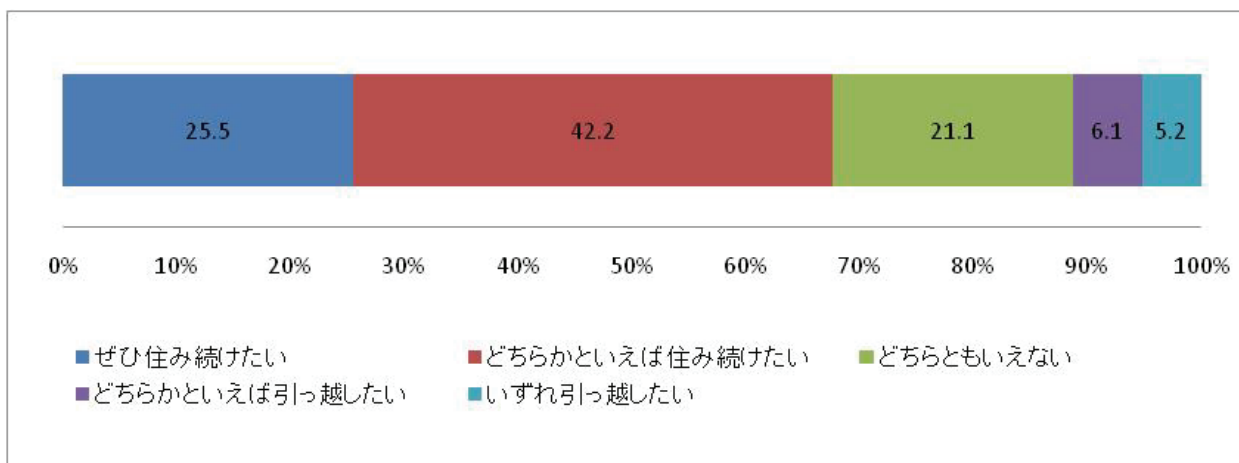
1. おなじ町内 7.4% (N=113)	2. 豊田市内 56.2% (N=862)	3. 愛知県内 16.4% (N=252)
4. 県外 6.6% (N=101)	5. 国外 0.3% (N=5)	
1. 仕事のため 8.1% (N=125)	2. 結婚のため 22.6% (N=291)	3. 住み替えのため 47.7% (N=731)
4. 家族の都合で 7.9% (N=121)	5. その他 1.3% (N=20)	

今回の調査の回答者の豊田市での居住年数の平均は 33.0 年であり、現在の住まいでの居住年数の平均は 20.6 年であった。他県の出身者も多い豊田市であるが、居住年数は長くなっている。なんらかの理由で豊田市に転入したのち、定住した人が多いためと考えられる（問 36 参照）。

**問 4. あなたは現在お住まいの地域に愛着がありますか。**



**問 5. あなたは現在お住まいの地域に今後も住み続けたいですか。**



問 4、問 5 では現在住んでいる地域への愛着および定住意思をたずねている。70%以上の人「強い愛着がある」「ある程度愛着がある」と答えており、また 70%近い人が現在住んでいる地域に「ぜひ住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えていることから、現在住んでいる地域におおむね満足していることがうかがえる。

**問6. 日ごろはどれくらいお忙しいですか。**

1. 非常に忙しい 16.2% (N=249)	2. どちらかといえば忙しい 42.8% (N=655)	3. どちらとも言えない 19.4% (N=297)
4. あまり忙しくない 15.3% (N=234)	5. 忙しくない 6.3% (N=97)	

日ごろの忙しさは「非常に忙しい」「どちらかといえば忙しい」と答えた人が約 60%であり、半数を超える人が忙しいと感じているようである。

**問7. 現在のお仕事にどれだけ愛着がありますか。**

1. 強い愛着がある 12.9% (N=198)	2. ある程度愛着がある 41.6% (N=638)	3. どちらとも言えない 13.6% (N=206)
4. あまり愛着はない 5.7% (N=88)	5. まったく愛着はない 2.5% (N=38)	6. 今は仕事をしていない 23.4% (N=359)

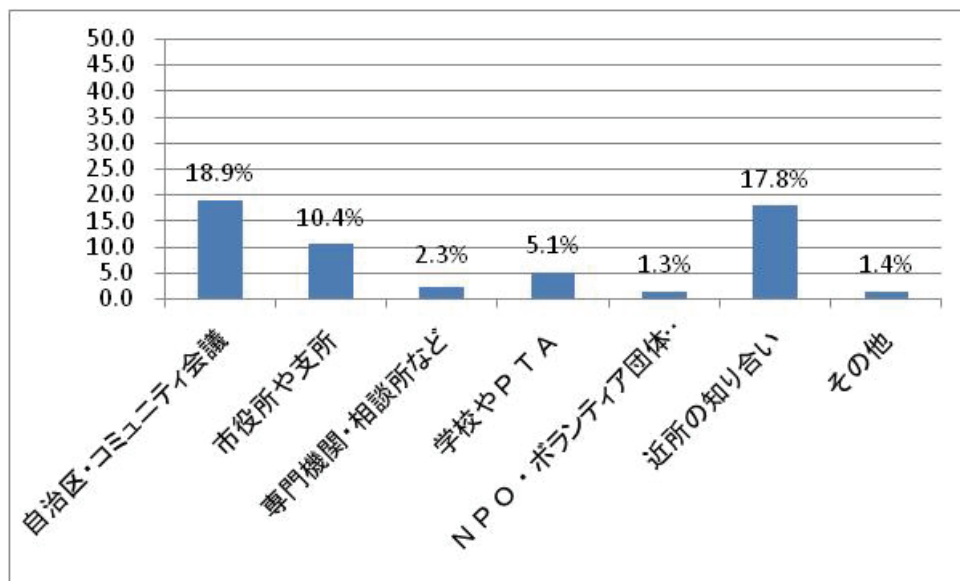
現在の仕事への愛着はおよそ 50%の人が「強い愛着がある」「ある程度強い愛着がある」と答えている。「今は仕事をしていない」と答えた人を除くと、現在仕事をしている人のうち 70%以上の人が仕事に愛着を感じていることがわかる。

**問8. 自由に使える時間が今より増えたら、あなたは何をしたいと思いますか。次の a) ~ g) についてお答えください。**

	とても したいと思う	ある程度 したいと思う	あまりしたいとは思 わない	したいとは思 わない
a) 趣味や娯楽	48.0% (N=729)	47.8% (N=726)	3.7% (N=56)	0.6% (N=9)
b) 仕事や能力開発	11.5% (N=172)	51.5% (N=768)	27.4% (N=409)	9.5% (N=142)
c) 友達とのつきあい	22.6% (N=340)	64.5% (N=970)	10.6% (N=160)	2.3% (N=34)
d) 家族と過ごす	44.5% (N=669)	50.4% (N=757)	3/9% (N=59)	1.2% (N=18)
e) ボランティア活動や NPO 活動	4.3% (N=65)	36.8% (N=554)	42.8% (N=644)	16.1% (N=242)
f) 地域交流や自治区活動	2.1% (N=31)	36.5% (N=548)	44.6% (N=669)	16.9% (N=253)
g) 休息をとる	27.6% (N=414)	55.9% (N=839)	13.1% (N=197)	3.5% (N=52)

時間があつたらしたいことのうち、「とてもしたいと思う」「したいと思う」の合計が最も多かったのは「趣味や娯楽」で 95.8%、ほぼ同数で「家族と過ごす」が 94.9%であった。「地域交流や自治区活動」は 38.6%、「ボランティア活動や NPO 活動」は 41.1%であった。地域交流の数値は低いようにもみえるが、のちにみるように、活動水準は高く、現状で満足していて今以上に増やす必要がないと感じていることの表れだと考えることもできる（問 22 参照）。

**問 9. これまでに、地域の問題についてあなたは以下のところに話や相談をしたことがありますか【複数回答】。**



地域の問題については、地域自治の公的組織である「自治区・コミュニティ会議」に相談したことがある人が 18.9%、一方で私的なつきあいである「近所の知り合い」に相談したことがある人が 17.8%とほぼ同率で多くなっている。しかし「とくにない」と答えた人が 63.7%にものぼり（表では省略）、全体としては地域の問題について相談することはそれほど多くないといえる。

問 10. あなたは、どのような種類のまちづくり活動に参加したことがありますか。また参加したことがある場合、①この1年間の活動の有無、②通常の集まりにどのくらい出ているか、③活動から充実感を得ているか、についてお答えください。

	以下のまちづくり活動に参加した経験がある	①この1年間に活動したことがある	②通常の集まりには半分以上参加している	③活動して充実感を感じる
a) 青少年の育成・世代間の交流 (PTA・子供会を含む)	1. はい → 30.1% (N=454)	61.7% (N=227)	47.8% (N=176)	38.6% (N=142)
	2. いいえ 69.9% (N=1054)			
b) 地域の伝統・文化やスポーツの振興	1. はい → 26.5% (N=399)	72.7% (N=253)	41.4% (N=144)	33.9% (N=118)
	2. いいえ 73.5% (N=1106)			
c) 地区の住環境の整備・向上活動 (美化・緑化など)	1. はい → 62.8% (N=952)	83.1% (N=756)	40.3% (N=367)	20.4% (N=168)
	2. いいえ 37.2% (N=565)			
d) 防犯活動や交通安全、防災活動など	1. はい → 38.7% (N=586)	79.9% (N=429)	36.3% (N=195)	18.1% (N=97)
	2. いいえ 61.3% (N=928)			
e) 自然環境の保全活動	1. はい → 11.6% (N=175)	66.5% (N=103)	44.5% (N=69)	27.7% (N=43)
	2. いいえ 88.4% (N=1336)			
f) 健康・医療・福祉活動の増進	1. はい → 10.1% (N=152)	78.9% (N=112)	29.6% (N=42)	29.6% (N=42)
	2. いいえ 89.9% (N=1349)			
g) 多文化共生や国際交流に関する活動	1. はい → 5.5% (N=82)	70.7% (N=53)	30.7% (N=23)	34.7% (N=26)
	2. いいえ 94.5% (N=1419)			
h) その他	1. はい → 1.6% (N=19)	93.3% (N=14)	40.0% (N=6)	60.6% (N=9)



→以上の活動のうちいずれかに参加していた方にうかがいます。

【付問1】 もっとも熱心に関わっている活動は左のページのa)~h)のうちどれで、何年ぐらい続けていらっしゃるでしょうか。

活動の記号  
( 下表 ) → 約 ( 9.5 ) 年ぐらい続けている

a	19.6%	(N=180)
b	14.3%	(N=132)
c	47.0%	(N=432)
d	10.9%	(N=100)
e	1.8%	(N=17)
f	3.4%	(N=31)
g	1.8%	(N=17)
h	1.2%	(N=11)

【付問2】 その活動にはなにがきっかけで参加されましたか【複数回答】。

1. 活動の様子を見て 8.8% (N=84)	2. 広報や宣伝をみて 6.5% (N=62)
3. 自治区活動をきっかけに 49.8% (N=474)	4. 順番が回ってきたため 32.8% (N=312)
5. 職場の社会貢献活動を機に 4.5% (N=43)	6. 友人がやっていたため 8.4% (N=80)
7. 仕事関係の知り合いがいた 2.6% (N=25)	8. その他 5.5% (N=85)

→問10のa) ~ h) のいずれの活動にも参加していない方にうかがいます。

【付問3】 参加されない理由はどのようなものですか【複数回答】。

1. 忙しいから 39.1% (N=84)	2. 娯楽や余暇を楽しみたいから 28.7% (N=62)
3. とくに不満はないから 24.9% (N=84)	4. 考え方が合わないから 4.8% (N=62)
5. 交通が不便で参加しにくいから 2.8% (N=84)	6. 活動の情報が得られないため 32.2% (N=62)
7. 健康上の理由 7.9% (N=84)	8. その他 13.7% (N=62)



全体として、地域活動への参加、活動の水準がかなり高いことがうかがえる数値である。

各種まちづくり活動のうち、もっとも活動経験の多いものは「地区の住環境の整備・向上活動」(62.8%)であり、もっとも熱心に行っている活動も「地区の住環境の整備・向上活動」がもっとも多かった。参加したきっかけは「自治区活動」がもっとも多い。活動年数も平均 9.5 年と長く、長期にわたり活動をしていることがわかる。

一方活動経験のもっとも少ないものは「多文化共生や国際交流に関する活動」であった。

参加しない理由では「忙しいから」がもっとも多かったが、「活動の情報が得られないから」も次いで多く、活動の情報が得られればまちづくり活動に参加する人はさらに増えると予想される。

### 【すべての方にうかがいます】

問 11. あなたは、以下の活動にどれくらい関心がありますか。次の a) ~ d) についてお答えください。

	つよい 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
a) 地元地区のまちづくりや 地区環境の改善	11.1% (N=167)	56.6% (N=855)	27.4% (N=414)	5.0% (N=75)
b) ハンディをもつ人への 支援活動	8.7% (N=130)	53.5% (N=800)	33.1% (N=495)	4.7% (N=70)
c) 仲間を楽しむ活動	10.3% (N=154)	56.8% (N=850)	28.1% (N=421)	4.8% (N=72)
d) 社会全体、人類的課題への 貢献活動	6.3% (N=94)	44.0% (N=659)	42.6% (N=637)	7.1% (N=107)

各種活動について関心の度合いをたずねたところ、もっとも関心が高かったのは「つよい関心がある」「ある程度関心がある」の合計が 67.7%を占める「地元地区のまちづくりや地区環境の改善」であり、居住地域への関心が高いことがわかる。他の活動では、「社会全体、人類的課題への貢献活動」で若干低くなっているが、関心の度合いにそれほど大きな差はない。

問 12. 次の a) ~ h) について、この1年以内にメンバーとして活動に参加したことがある団体はありますか。また参加しているばあい、①どのくらい集まりに出ている、②周囲から評価されていますか。

	この1年以内に活動に参加した	通常の集まりには半分以上参加している	活動していて周りから評価されていると感じる
a) 自治区やコミュニティ会議の会合・活動	1. はい 29.4% (N=437)	→ 93.3% (N=360)	17.1% (N=66)
	2. いいえ 70.6% (N=1047)		
b) 子ども会の活動・PTAの役員・委員としての活動	1. はい 11.5% (N=170)	→ 94.0% (N=140)	21.5% (N=32)
	2. いいえ 88.5% (N=1310)		
c) 地域的なまちづくり団体(上の a)・b)以外のもの。消防団や婦人会なども含めます)	1. はい 9.7% (N=143)	→ 90.0% (N=117)	24.6% (N=32)
	2. いいえ 90.3% (N=1327)		
d) NPO・ボランティア団体(地元地域の枠を超えて活動をしているもの)	1. はい 6.0% (N=88)	→ 80.0% (N=64)	52.5% (N=42)
	2. いいえ 94.0% (N=1387)		
e) 社会運動団体(平和運動や環境運動のように新しい価値の実現を目指す団体)	1. はい 2.7% (N=39)	→ 91.4% (N=32)	25.7% (N=9)
	2. いいえ 97.3% (N=1418)		
f) 企業や経営団体関連の社会貢献活動	1. はい 6.7% (N=98)	→ 91.5% (N=75)	19.5% (N=16)
	2. いいえ 93.3% (N=1372)		
g) 労働組合関連の社会貢献活動	1. はい 4.8% (N=71)	→ 93.4% (N=57)	18.0% (N=11)
	2. いいえ 95.2% (N=1398)		
h) その他	1. はい 1.0% (N=15)	→ 76.9% (N=10)	76.9% (N=10)

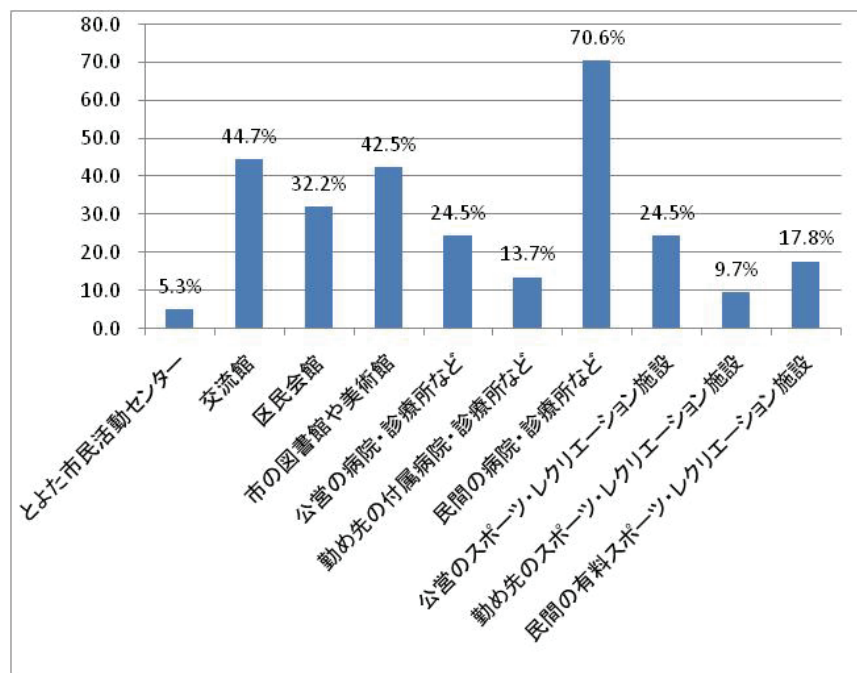
1年以内にメンバーとして活動したことがある団体についてたずねたところ、「自治区やコミュニティ会議の会合・活動」がおおよそ3割でもっとも多く、3人に1人の割合で自治区やコミュニティ会議などの会合に参加していることがわかる。また半分以上の活動に参加している人はどの活動についても9割前後と高く、メンバーとして所属している団体の活動への参加頻度は高いといえる。周囲からの評価では、「その他」を除けば「NPO・ボランティア団体」がもっとも多く、半数以上の人が周囲から評価を受けていると感じているようである。

**問 13. あなたが地域のためにいろいろと活動することで、地域社会は良い方向に変化するだろうと感じますか。**

1. 良い方向に変化する 11.0% (N=164)	2. どちらかといえば良い方向に変わる 36.9% (N=552)
3. どちらかといえば変わらない 19.2% (N=287)	4. 変わらない 13.8% (N=206)
5. 分からない 19.2% (N=287)	

地域のために活動することについて、「良い方向に変化する」「どちらかといえば良い方向に変わる」と答えた人が47.9%と約半数であった。「どちらかといえば変わらない」「変わらない」の合計は33.0%、分からないと答えたひとが19.2%であった。

**問 14. この1年間に以下のような施設・サービスを利用したことがありますか【複数回答】。**

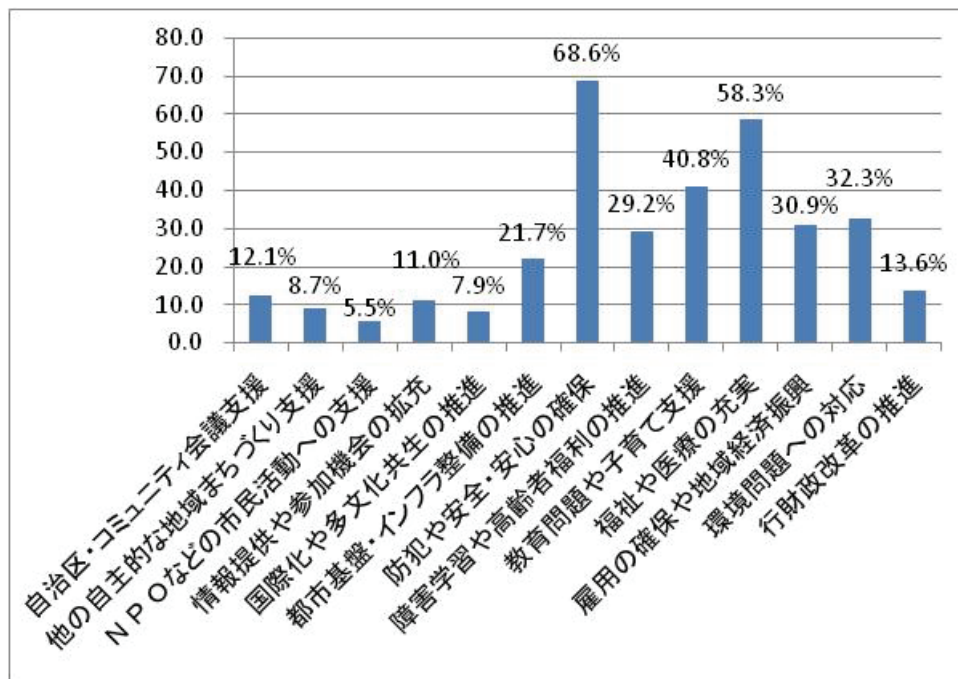


利用したことがある施設・サービスでは「民間の病院・診療所」がもっとも多く、70.6%だった。

スポーツ施設に関しては公営施設の利用がもっとも多い。

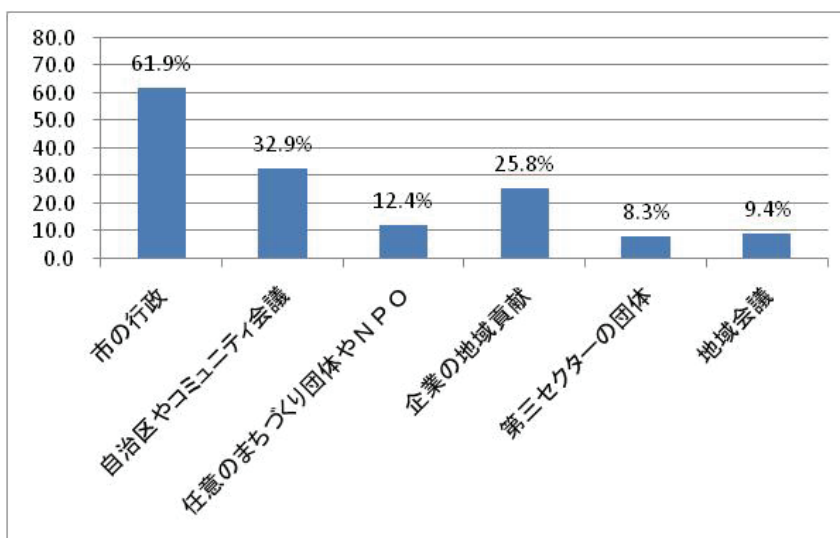
また交流館や区民会館、図書館や美術館の利用も多く、市所有の施設・サービスも3分の1から半数弱の人が利用していることがわかる。

問 15. 豊田市のまちづくり施策についてとくに望むことがありますか【複数回答】。



豊田市のまちづくり施策について望むことは「防犯や安全・安心の確保」がもっとも多かった。次いで多いのは「福祉や医療の充実」「教育問題や子育て支援」であり、生活に密着した部分での支援を望んでいると考えられる。その対極にある「NPO などの市民活動への支援」はもっとも低く 5.5%だった。

問 16. 今後の地域のまちづくりの担い手として、あなたは次のうちどのようなものに期待しますか【複数回答】。



まちづくり活動の活発な豊田市の担い手として期待するものは「市の行政」が最も多く（61.9%）、市民団体の多い豊田市でも、市行政への期待が高いことがうかがえる。

また「企業の地域貢献」への期待も 25.8%であり、企業への期待も高いことがわかる。

問 17. さまざまな国から豊田市に来ている人が地域社会の活動に参加することについてどれほど重要と思われますか。a) ~ d) についてお答えください。

	とくに重要	どちらかといえば重要	どちらとも言えない	重要ではない
a) 地域のまちづくり活動に参加すること	20.2% (N=303)	50.9% (N=762)	25.6% (N=383)	3.3% (N=48)
b) 文化的な交流やイベントに参加すること	19.0% (N=284)	56.8% (N=849)	21.1% (N=315)	3.1% (N=46)
c) 投票権をもったり議員になったりすること	6.5% (N=97)	23.8% (N=354)	54.4% (N=810)	15.3% (N=228)
d) 地域で働いたり事業を営すること	9.1% (N=136)	40.0% (N=597)	42.4% (N=632)	8.5% (N=127)

外国から豊田市に来ている人の地域社会での活動への参加について、「とくに重要」「どちらかといえば重要」の合計が最も高いのは「文化的な交流やイベントに参加すること」(75.8%)であり、ほぼ同率で「地域のまちづくり活動に参加すること」(71.1%)と続くことから、外国の人にも豊田市のまちづくりを共に考えてほしいと考えており、共生を望んでいることがうかがえる。

一方で投票権を持つことや議員になることなど、フォーマルな政治参加に関してはそれほど重要だと受け止められていないようである。

問 18. あなたが現在お住まいの地域について、以下の a) から i) の項目について評価をお聞かせください。

	良い	まあ良い	あまりよくない	よくない
a) 緑や川などの自然環境	24.9% (N=377)	54.2% (N=820)	17.0% (N=257)	3.8% (N=58)
b) 通勤や買い物の便利さ	22.6% (N=343)	40.3% (N=612)	22.9% (N=348)	14.2% (N=216)
c) 物価や生活費の安さ	4.2% (N=63)	50.6% (N=763)	37.0% (N=559)	8.2% (N=124)
d) 治安の良さ	7.2% (N=109)	55.7% (N=846)	29.1% (N=442)	8.1% (N=123)
e) 教育や文化面での環境	5.4% (N=81)	58.6% (N=884)	30.1% (N=454)	5.9% (N=89)
f) 医療・福祉施設の充実度	7.4% (N=113)	49.8% (N=756)	32.6% (N=494)	10.2% (N=154)
g) 町並み、景観の美しさ	5.5% (N=83)	47.5% (N=720)	38.5% (N=583)	8.5% (N=129)
h) 行政の施策の手厚さ	2.1% (N=32)	40.4% (N=610)	45.6% (N=688)	11.9% (N=180)
i) 知人・友人の多さ	9.6% (N=145)	55.7% (N=842)	26.4% (N=399)	8.4% (N=127)

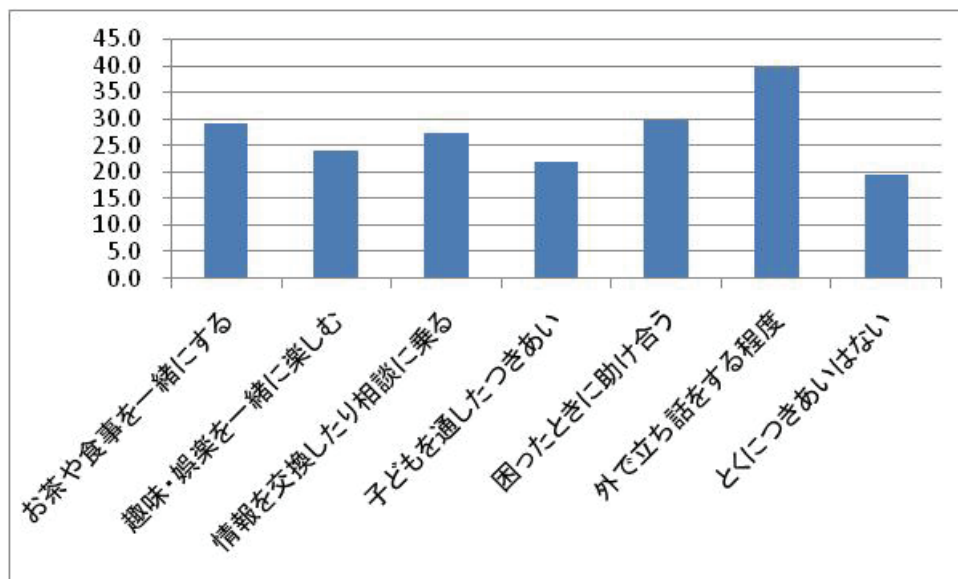
居住地域の評価ではおおかたの項目で半数以上が「良い」もしくは「まあ良い」と答えており、おおむね満足している傾向にある。しかし「通勤や買い物の便利さ」「物価や生活費の安さ」「町並み、景観の美しさ」「行政の施策の手厚さ」では「あまりよくない」「良くない」の回答が45%を超えており、市街地が広がっていることにも問題を感じていることもわかる。

**問 19. あなたは、ふだんいっしょにお茶や食事を楽しむ人が、何人くらいいますか。**

1. 1人	2. 2～3人	3. 4～5人
3.5% (N=53)	34.9% (N=533)	29.3% (N=447)
4. 6～9人	5. 10人以上	6. とくにそういった人はいない
10.5% (N=160)	8.1% (N=123)	13.8% (N=210)

ふだんいっしょにお茶や食事を楽しむ人が1人以上いる人は85%以上にのぼっており、全体的には人間関係はけっして希薄化していない。しかし13.8%の人はそうした人はおらず、社会から孤立している可能性もある。

**問 20. あなたは、ご近所の親しい方とはどのようなおつきあいをされていますか【複数回答】。**



近所とのつきあいでは「外で立ち話をする程度」が最もおおく、40%にのぼる。「困ったときに助け合う」「情報を交換したり相談に乗る」のような実質的なつきあいをもつ人も3割前後に達している。反対に「とくにつきあいはない」と答えた人も20%近く存在する。

**問 21. お住まいの地域に、勤め先や仕事関係で知り合った知人の方はいらっしゃいますか。**

1. たくさんいる 13.5% (N=206)	2. 数名いる 38.6% (N=587)	3. 1～2名いる 17.5% (N=267)
4. いない 23.9% (N=363)	5. 分からない 2.8% (N=43)	6. 仕事をしたことがない 3.7% (N=56)

住んでいる地域に勤め先や仕事関係で知り合った人が1人以上いる人は69.6%にものぼり、「たくさんいる」と答えた人も13%以上存在する。職場の近くに居を構えている人が多いことがうかがえる。

**問 22. あなたは現在の生活について、どの程度満足していますか。**

	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である	該当しない
a) 全体的に	18.1% (N=274)	64.6% (N=980)	13.3% (N=202)	4.0% (N=60)	
b) お仕事の面で	9.8% (N=148)	46.4% (N=701)	15.6% (N=235)	6.4% (N=97)	21.8% (N=329)
c) 家族との関係で	37.4% (N=569)	50.9% (N=774)	8.7% (N=133)	1.6% (N=25)	1.3% (N=20)
d) 地域との交流で	7.5% (N=112)	67.2% (N=1009)	22.4% (N=336)	3.0% (N=45)	
e) 友人との関係で	22.1% (N=334)	66.1% (N=1000)	10.6% (N=160)	1.3% (N=20)	
f) 健康面で	18.8% (N=286)	58.4% (N=890)	17.3% (N=264)	5.4% (N=83)	
g) 周囲からの評価	9.2% (N=135)	74.8% (N=1100)	13.5% (N=198)	2.5% (N=37)	

現在の生活について満足度をたずねたところ、全体的に「満足している」「どちらかといえば満足」と答えた人は8割以上にのぼり、多くの方が現在の生活に満足している傾向が見て取れる。「満足している」と答えた人の割合がもっとも多いのは「家族との関係」であり、回答者の家族関係はおおむね良好だということがわかる。逆に「満足している」と答えた人が相対的に少ないのは「地域との交流」「仕事面」「周囲からの評価」であった。

問 23. あなたは、どのような社会のあり方が望ましいと思われるですか。つぎの a) ~ i) の項目についてそれぞれお答えください。

	とくに重要	どちらかといえば重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない
a) 個人の能力が発揮され業績が認められる社会	26.0% (N=391)	53.1% (N=799)	18.5% (N=279)	2.4% (N=36)
b) チャンスや手段が平等に与えられる社会	32.0% (N=484)	52.0% (N=786)	14.2% (N=214)	1.8% (N=27)
c) 伝統や年長者を尊重する社会	21.7% (N=329)	55.5% (N=841)	19.6% (N=297)	3.1% (N=47)
d) 自然や環境を大事にする社会	52.0% (N=790)	43.4% (N=660)	4.0% (N=61)	0.5% (N=8)
e) 経済成長や豊かさを追求する社会	13.3% (N=201)	47.7% (N=721)	34.5% (N=521)	4.5% (N=69)
f) 個人の自由やプライバシーが優先される社会	16.3% (N=247)	49.6% (N=750)	31.6% (N=478)	2.4% (N=36)
g) 生活の安心と安全が保障された社会	65.7% (N=999)	31.1% (N=472)	3.0% (N=45)	0.3% (N=4)
h) さまざまな差別のない社会	44.1% (N=668)	45.4% (N=687)	9.7% (N=147)	0.8% (N=12)
i) 国籍や文化の異なる人たちが共生する社会	18.5% (N=281)	50.2% (N=762)	27.5% (N=418)	3.8% (N=57)

望ましい社会のあり方について、「とくに重要」と答えた人が多かったのは「生活の安心と安全が保障された社会」および「自然や環境を大事にする社会」であった。一方「経済成長や豊かさを追求する社会」では「とくに重要」と答えた人は少なく、経済成長よりも自然や環境を重視し、生活の安心や安全を求める傾向がうかがえる。

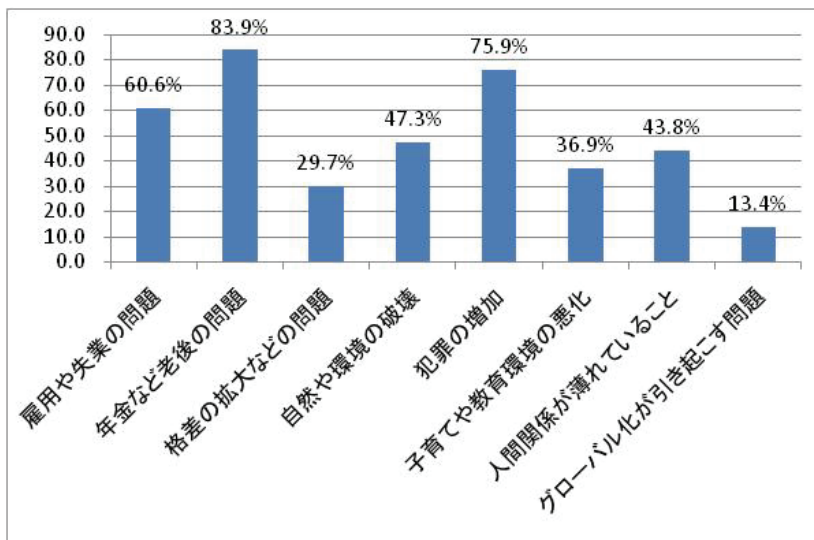
問 24. 一般的信頼感と言われる項目についてうかがいます。あなたは、たいていの人は信頼できると思いますか、それとも他人と付き合う際には注意深いにこしたことはないと思いますか。

1. 信頼できる 5.5% (N=84)	2. どちらかといえば信頼できる 42.9% (N=654)
3. どちらとも言えない 36.6% (N=558)	4. どちらかといえば信頼できない 12.0% (N=183)
5. 信頼できない 3.0% (N=45)	

一般的信頼感についてたずねたところ、「信頼できる」「どちらかといえば信頼できる」と答えた人が 48.4%と約半数であり、「どちらかといえば信頼できない」「信頼できない」と答えた 15%の約 3倍であった。



**問 25. 最近の社会状況について不安に感じていることがありますか【複数回答】。**



社会状況について不安に感じていることでもっともおおかったのは「年金など老後の問題」であり、年金問題への関心がうかがえる。一方もっとも少なかったのは「グローバル化が引き起こす問題」であり、グローバル化によって生じる問題への懸念は相対的に少ないようである。

**問 26. あなたの現在の暮らし向きは、世間一般からみてどのくらいですか。**

1. 上 1.2% (N=19)	2. 中の上 19.2% (N=294)	3. 中の中 55.9% (N=854)	4. 中の下 20.4% (N=311)	5. 下 3.3% (N=50)
---------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	---------------------

現在の暮らし向きについてたずねたところ、「中の中」と答えた人がもっともおおく、55.9%であった。「上」「中の上」と答えた人はおよそ 20%、「中の下」「下」と答えた人はおよそ 25%とほぼ同数であった。

**問 27. あなたは人とくらべて、めぐまれた生活を送っていると思いますか。**

1. めぐまれている 12.1% (N=185)	2. どちらかといえばめぐまれている 50.6% (N=773)
3. どちらとも言えない 29.6% (N=452)	4. どちらかといえば損をしている 6.3% (N=96)
5. 損をしている 1.5% (N=23)	

人とくらべてめぐまれていると思うかどうかたずねたところ、「めぐまれている」「どちらかといえばめぐまれている」と答えた人があわせて 62%と、半数以上に達している。「どちらかといえば損をしている」「損をしている」と答えた人は 10%もおらず、豊田市に住む人の多くは相対的に「めぐまれている」と思っている傾向があることがわかる。

(問 28 以降はフェース・シート項目につき省略)

「豊田市のまちづくりと市民活動に関する調査」 集計結果 概要版

2009年11月

編集 名古屋大学大学院環境学研究科（文学部）

社会学研究室

丹邊 宣彦

新城 優子

[L46750a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:L46750a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp)

\*本概要版の内容は暫定的なものであり、データ整理にともない予告なしに更新されることがあります。